

2. 指標設定

成果指標	指標名		公衆衛生の維持		目標年度	H32	指標の設定理由				
	数値		—				総合計画前期基本計画の3-5-(3)、6-2-(3)で目標としているため				
活動指標	指標	a	補助実施数		b	狂犬病注射頭数		c		d	
	数値	目標	—		目標	—		目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H 2 6	H 2 7	H 2 8
公衆衛生の維持		—	—	
		—	—	

活動指標名		単位	H 2 6	H 2 7	H 2 8
a	補助実施数	件	3 件	6 件	7 件
			—	—	—
b	狂犬病注射頭数	頭	2,047 頭	1,984 頭	1,885 頭
			—	—	—
c					
d					

4. 課題と対応

課題
市民の要望や法令に基づく対応であるため、精査しながら処理する。
対応（改善点等）
法令に基づいた適切な処理を行うことや、補助金交付基準に沿った交付認定を行う。

5. 事業費・・・H 2 6～H 2 8（決算額）、H 2 9（予算現額）

決 算 額（千円）		H26	H27	H28	H29
うち経常経費		9,253	9,369	16,626	28,348
		6,825	5,829	6,869	13,772
財源内訳	国 県 費	90	90	90	90
	市 債				
	そ の 他	1,640	1,587	1,520	1,665
	一般財源	7,523	7,692	15,016	26,593
	うち経常	5,095	4,152	5,259	12,017

6. H 3 0年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
平年並みの事業実施のため

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	事業の必要性は高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	法令等により市が実施主体であることが定められている。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	目標達成のために適切な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3	期待したとおりの成果が上がっている。

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、適正かつ効果的な事業実施を行うこと。

2. 指標設定

成果指標	指標名		火葬業務の実施		目標年度	H32	指標の設定理由					
	数値		—				総合計画前期基本計画の3-5-(3)で目標としているため					
活動指標	指標	a	火葬業務数		b		c		d			
	数値	目標	—		目標		目標		目標			

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名		単位	H 2 6	H 2 7	H 2 8
火葬業務の実施			—	—	—
			—	—	—

活動指標名		単位	H 2 6	H 2 7	H 2 8
a	火葬業務数	件	872 件	820 件	807 件
b			—	—	—
c					
d					

課題	
ランニングコスト等の洗い出しを行い、経費の削減に取り組む。	
対応（改善点等）	
現状の調査を行い、個々の内容について検討調整していく。	

5. 事業費・・・H 2 6～H 2 8（決算額）、H 2 9（予算現額）

決 算 額（千円）		H26	H27	H28	H29
うち経常経費		911,294	35,782	35,751	39,065
		24,852	35,782	35,752	39,065
財源内訳	国 県 費				
	市 債	826,200			
	そ の 他	15,428	26,180	13,263	13,762
	一般財源	69,666	9,602	22,488	25,303
	うち経常	10,599	9,602	22,488	25,303

6. H 3 0 年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
平年並みの事業実施のため

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	事業の必要性は高い
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	法令等により市が実施主体であることが定められている
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	目的達成のために適切な手段である
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3	期待したとおりの成果が上がっている

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、適切な管理運営を行うこと。

2. 指標設定

成果指標	指標名		一般廃棄物適正処理		目標年度	H32	指標の設定理由			
	数値		—				総合計画前期基本計画の3-5-(2)で目標としているため			
活動指標	指標	a	回収回数		b		c		d	
	数値	目標	—		目標		目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H 2 6	H 2 7	H 2 8	活動指標名	単位	H 2 6	H 2 7	H 2 8
一般廃棄物適正処理		—	—	—	a	回収回数	回	41 回	39 回
		—	—	—				—	50 回
					b				
					c				
					d				

4. 課題と対応

課題
犬猫の死骸から野生動物の死骸まで多様であるが、迅速な対応を行う。
対応（改善点等）
市民からの通報などにより、迅速な処置対応を行っていく。

5. 事業費・・・H 2 6～H 2 8（決算額）、H 2 9（予算現額）

決 算 額（千円）		H26	H27	H28	H29
うち経常経費		47	5	110	143
		47	5	110	
財源内訳	国 県 費				
	市 債				
	そ の 他	8	5	6	16
	一般財源	39		104	127
	うち経常	39		104	127

6. H 3 0年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
平年並みの事業実施のため

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	事業の必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	法令等により市が実施主体であることが定められている。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	目的達成のために適切な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3	期待したとおりの成果が上がっている。

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き適正処理に努めること。

2. 指標設定

成果指標	指標名		循環型社会の形成		目標年度	H32	指標の設定理由			
	数値		—				総合計画前期基本計画の3-5-(4)、6-2-(3)で目標としているため			
活動指標	指標	a	不法投棄防止看板設置数	b	コンポスター給付実施数	c		d		
	数値	目標	—	目標	80件	目標		目標		

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名		単位	H 2 6	H 2 7	H 2 8
循環型社会の形成			—	—	—
			—	—	—

活動指標名		単位	H 2 6	H 2 7	H 2 8
a	不法投棄防止看板設置数	件	48 件	24 件	36 件
			—	—	—
b	コンポスター給付実施数	件	91 件	80 件	110 件
			101.1 %	88.9 %	137.5 %
c					
d					

課題	
ごみの不法投棄を防止するために、どのような活動が効果的であるのか、検討する。	
対応（改善点等）	
ごみの不法投棄防止の啓発方法などを検討し、実践に向けた対応を行う。	

4. 課題と対応

5. 事業費・・・H 2 6～H 2 8（決算額）、H 2 9（予算現額）

決 算 額（千円）		H26	H27	H28	H29
うち経常経費		1,094	715	949	1,071
		975	715	807	1,071
財源内訳	国 県 費	59	67	70	
	市 債				
	そ の 他	227	200	275	300
	一般財源	808	448	604	771
	うち経常	748	380	532	771

6. H 3 0年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
従来から実施している不法投棄防止看板の設置とコンポスター給付事業を継続していく。

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	事業の必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	法令等により市が実施主体であることが定められている。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	目的達成のために適切な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3	期待したとおりの成果が上がっている。

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	引き続き、環境保全に資するための啓発活動を含め、効果的、効率的な事業実施に努めること。

予算	款	項	目	決算書	
	4	2	4	202	頁

目 名
清掃センター費

事業名称
一般廃棄物処理事業

目的	一般廃棄物の適切な処理	対象	一般廃棄物処理計画 区域内住民等
事業概要	○一般廃棄物処理事業・・・一般廃棄物の適正な処理と減量化 ・計画区域内における一般廃棄物を生活環境の保全上支障が生じないうちに収集、運搬、処分するとともに、循環型社会の形成に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、もって現在及び将来の市民の健康で文化的な生活と環境保全の確保と廃棄物の減量及び資源の循環的な利用による環境負荷の低減を図るための業務を行った。 【処理実績】 ・可燃ごみ(10,002t)、粗大ごみ(495t)、不燃ごみ(291t)、資源ごみ(1,744t)、プラスチック(311t) - 処理合計12,843t (H29.3.31現在) ・資源化量 2,030t 資源化率 15.8% ○一般廃棄物処理施設整備事業・・・安定した一般廃棄物処理のための施設の改修及び更新 ・ごみ処理施設の信頼性及び安全性を維持するために設備・機器の適切な保全及び管理を行い、ごみ処理に支障をきたすことなく安定的かつ継続的な業務を行った。		

臨／経	細事業名称	事業内容（主な経費等）		前年度決算額 （千円）	予算現額 （千円）	決算額 （千円）	財源内訳				評価
							国・県支出金	地方債	その他	一般	
経常	一般廃棄物処理事業	ごみ収集・処分業務委託料等	委託料	397,817	376,967	344,829			143,297	201,532	3
臨時	一般廃棄物処理施設整備事業	工事請負費 4件	工事請負費	36,887	29,826	29,484			4,594	24,890	3
計				434,704	406,793	374,313	0	0	147,891	226,422	

2. 指標設定

成果指標	指標名	ごみ処理の適正化、ごみの減量化	目標年度	H32	指標の設定理由			
	数値	186kg/人・年			総合計画前期基本計画の3-5-(2)で目標としているため			
活動指標	指標	a	維持管理の適正化	b	ごみ分別の推進	c		d
	数値	目標	経常経費の削減	目標	ごみの減量化を図る	目標		目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H 2 6		H 2 7		H 2 8	
ごみ処理の適正化、ごみの減量化	kg	198.0	kg	198.9	kg	201.9	kg
		93.9	%	93.5	%	92.1	%

課題

人口は減少しているもののごみの排出量は横ばいである。可燃ごみ中に含まれる紙類の割合が約40%であることから分別を強化し、ごみの焼却量を削減する必要がある。

対応（改善点等）

平成27年度から配信しているごみ分別アプリを活用して、ごみの分別強化を促進し、ごみの減量化を図る。

活動指標名	単位	H 2 6		H 2 7		H 2 8	
a	維持管理の適正化	千円	373,650	千円	434,704	千円	374,314
b	ごみ分別の推進	回	17	回	17	回	12
c							
d							

4. 課題と対応

課題
人口は減少しているもののごみの排出量は横ばいである。可燃ごみ中に含まれる紙類の割合が約40%であることから分別を強化し、ごみの焼却量を削減する必要がある。
対応（改善点等）
平成27年度から配信しているごみ分別アプリを活用して、ごみの分別強化を促進し、ごみの減量化を図る。

5. 事業費・・・H 2 6～H 2 8（決算額）、H 2 9（予算現額）

決 算 額（千円）		H26	H27	H28	H29
		373,650	434,704	374,313	472,458
うち経常経費		320,357	302,263	341,730	372,522
財源内訳	国 県 費				
	市 債				
	そ の 他	159,332	170,184	147,891	219,786
	一般財源	214,318	264,520	226,422	252,672
	うち経常	170,339	154,560	198,960	229,408

6. H 3 0 年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
施設の維持管理に一定の経費が必要となるため。

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	生活環境の保全上、事業の必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	民間の技術的能力を活用することが可能であるが、移行体制が整備されていない。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	目的達成のために適切な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3	安定的かつ適正な一般廃棄物処理が遂行され、期待したとおりの成果があがっている。

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	ごみの分別強化を促進しごみの減量化を図るとともに、適切な施設の維持・運営に努めること。

2. 指標設定

成果指標	指標名		一般廃棄物の適正な処理		目標年度	H32	指標の設定理由			
	数値		－				総合計画前期基本計画の3-5-(1)で目標としているため			
活動指標	指標	a	施設維持管理の適正化		b		c		d	
	数値	目標	経費の削減(A重油)		目標		目標		目標	

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名		単位	H 2 6	H 2 7	H 2 8
一般廃棄物の適正な処理			—	—	—
			—	—	—

4. 課題と対応

課題	
膜分離装置6基の交換頻度が高く、交換時のコストが高い。乾燥・焼却設備の燃料代軽減及び間もなく大規模改修時期を迎える。	
対応（改善点等）	
膜分離装置の方式変更及び高効率脱水装置の導入等の維持管理費の削減策について検討する。	

活動指標名		単位	H 2 6	H 2 7	H 2 8
a	施設維持管理の適正化	リットル	196,000	182,000	196,000
			—	—	
b					
c					
d					

5. 事業費・・・H 2 6～H 2 8（決算額）、H 2 9（予算現額）

決 算 額（千円）		H26	H27	H28	H29
		142,190	136,392	153,990	163,122
	うち経常経費	142,190	78,072	72,990	84,968
財源内訳	国 県 費				
	市 債				
	そ の 他	25,301	21,205	22,628	23,274
	一般財源	116,889	115,187	131,362	139,848
	うち経常	116,889	65,915	59,800	70,502

6. H 3 0 年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
施設の維持管理に一定の経費が必要となるため。

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	一般廃棄物の適正な処理を行う施設である。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	法令等により、市が実施主体であることが定められている。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	民間委託導入などの検討(包括的民間委託)
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3	適正な一般廃棄物処理が実施されている。

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
見直し	施設の長寿命化を図ること。併せて適正な運営形態について検討すること。

2. 指標設定

成果指標	指標名		再生可能エネルギーの推進		目標年度	H32	指標の設定理由					
	数値		—				総合計画前期基本計画の6-2-(1)で目標としているため					
活動指標	指標	a	維持管理回数			b		c		d		
	数値	目標	—			目標		目標		目標		

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名		単位	H 2 6	H 2 7	H 2 8
再生可能エネルギーの推進			—	—	
			—	—	

4. 課題と対応

課題	
発電設備の状況を常に監視し、十分な維持管理を行う。	
対応（改善点等）	
発電設備の状況に応じた対応を行う。	

活動指標名		単位	H 2 6	H 2 7	H 2 8
a	維持管理回数	回	30 回	38 回	36 回
b			—	—	—
c					
d					

5. 事業費・・・H 2 6～H 2 8（決算額）、H 2 9（予算現額）

決 算 額（千円）		H26	H27	H28	H29
うち経常経費		186,395	102,250	113,850	110,004
			102,250	113,850	110,004
財源内訳	国 県 費				
	市 債				
	そ の 他	186,395			
	一般財源		102,250	113,850	110,004
	うち経常		102,250	113,850	110,004

6. H 3 0 年度予算の方向性

方向性
前年並
理由
継続して、発電施設の維持管理を充分に行っていく。

7. 担当課による分析

着眼点		分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3	事業の必要性が高い。
② 行政の関与性	責任領域の精査	3	法令等により市が実施主体であることが定められている。
③ 手段の妥当性	活動指標の分析	3	目的達成のために適切な手段である。
④ 事業の有効性	成果指標の判断	3	期待したとおりの成果が上がっている。

8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	適切な管理運営に努めること。